

支援事例 ケース12

相談者

神奈川県横浜市在住 60代 女性 年金 2011年6月より入居

【相談内容】

遺族年金で生活している相談者。息子が体調不良により離職してから引きこもり状態となり収入が激減したそうです。蓄えを切り崩して生活する状態が1年程度続き、ようやくパートの仕事をみつけたものの、息子の状況は変わらず、生活環境もパート収入ができたからといって一変することはなかった模様です。

困窮状態から抜け出せないまま、ついに毎月の家賃や光熱費も正常に支払うことができなくなってしまった為、何かしら支援が受けられないかとの相談を受けました。

【対応内容】

相談者の自宅に訪問し、息子も含めた3者で話をしたところ、以前に生活保護の相談をしたそうですが、息子が乗用車を所持していたのを理由に断られた模様でした。但し、乗用車はというと確かに所持はしているものの、車検の期限は切れている上、ローンの支払いは滞納していて裁判所から差し押さえ命令を受けている状況でした。

現状を正確に説明できていないと判断し、相談員も含めて再度生活保護の相談に行くことを提案しました。乗用車の問題を早急に解決し、無償で乗用車を処分してくれる業者を手配し、処分後直ぐに生活保護の相談に行き申請を受理してもらいました。

【相談者様の声】

息子が引きこもり状態になってから次第に会話がなくなって、最近では殆ど口も利かない状況でひとりで悩んでいた気がします。

非常に面倒だと息子から聞いていた乗用車の問題が、相談員のアドバイスで僅か数日で解決した時は、びっくりしたと同時に目から鱗が落ちる思いでした。こんなことならもっと早くに相談すればよかったと後悔しています。

おかげ様で、仕事も今以上に長時間勤務できることになりました。残るは息子が元気になってくれることですが、**本当にありがとうございました。**